

体験談・エピソード

揺れるハハハハ

保健室からのメッセージ ②1

西伯日野合同養教部発行
平成12年10月15日号

学校の鏡は休憩時間になると人气的です。さあ、今日も鏡に向かってニコニコと語りかけましょう。髪型パッチリ、顔イキイキ、歯キラキラ、世界に自分はまだ一人、さあー今日も頑張るぞー勇気と元気がわいてくることでしょう。

しかし、私が何とかして欲しいと思うのは、ステキな顔ステキな目が前髪で隠れてしまっような髪型です。顔を隠したくなるほど恥ずかしいのか、見られたくないのか、カッコいいと思っているのか、散髪屋さんに行く時間がないのか、理解に苦しむような髪形にとまどうことが

よくあります。そのうち、保健室が散髪屋さんになることもあります。

髪を染める、パーマをかける、坊主頭にする等、生徒達は気持ちの変化によってか、突然思いがけない髪型に変身することがあります。ちょっと気になる時は声をかけて、変身したわけを

鏡に向かって

聞くようにしています。「ストレスパーマの寿命は三ヶ月と言われたのに、やっぱり二週間たわ。」髪を染めると癌にかかりやすいの?」総体で優勝するために坊主にしました。」等、髪型から話はずむことも多くあります。

さて、鏡に向かって髪型ばかりを見るのではなく、口の中や身だしなみにも気を配って欲しいものです。磨いていない歯、洗っていない顔、汚れている制服では、いくら髪型がパッチリでもエチケットに欠け、イメー

シダウンです。そしてもう一つ、鏡の下にくさんの髪の毛が落ちていたり、とに気づいているでしょうか。手洗いが詰まる原因にもなるので、洗面所の周りを清潔にするような心配りもできたらいいなあと思います。

誰にも必ず、いいところがあるはず。自分に自信を持って、一日に一回は鏡に向かって笑顔で語りかけ、今日も明るくがんばりましょう。

(文責 K)



被災時の心のケア

保健室からのメッセージ ②2

突然鳥取県西部を襲った大地震から十日経ちました。被災地では復旧作業がとんとん進んでいます。元の生活に戻るのはいづいぶん先のことでしょう。心よりお見舞い申し上げます。

被災直後の翌日、担任と分担して家庭訪問。「家の中がめちゃくちゃであるとした。」避難所で寝ただけでよく眠れなかった。「地震が起きた時、まず、家にいるおばあちゃんのことを心配だった。」余震が続く家にいるのは不安。「等々の声。皆、家の片付けの手伝いで疲れた顔ではあるが、元気な姿を見ることが出来る。来てひと安心しました。どのこ

家族とも、「全員、命があった」とが一番ですね。」と喜びあいました。

しかし、今はまだ気が張っていますが、日にちが経つてくると疲れもたまり、いろいろな健康上の問題も発生してくると思えます。「家族で次のような症状に注意しましょう。

- 頭痛・腹痛が出てきた。
- 食欲が低下してきた。
- また反対に食べ過ぎる。
- 寝つきが悪い。
- 夜中に何度も目がさめる。
- 皮膚も目がかゆくなる。
- ちょっとしたことでも、すべーという場合は、かなりストレ

スが溜まってきた証拠です。そんな時は、中学生だけでなく、大人の方も誰かに話をしてみよう。不安なことや心のもやもやを聞いてもらうと、自分でも驚くくらいに、すいぶん心が軽くなります。こんな時こそ、家族での会話を大切にしたいものです。

また、家族以外の人に相談するのも、意外と効果があります。場合によっては専門家の力を借りましょう。遠慮しないで思い切って相談してください。

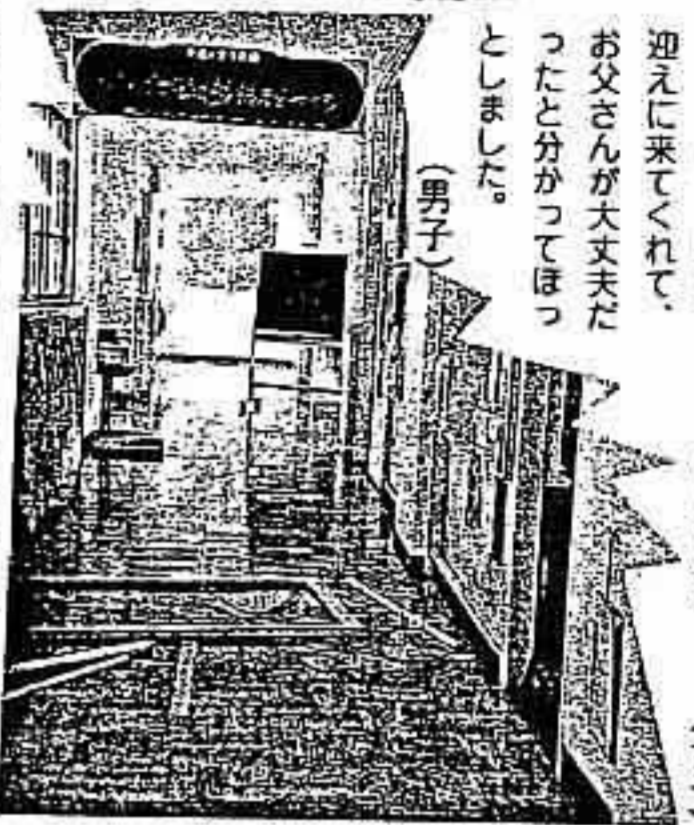
(文責 T)

相談窓

- ◎井上クリニック (米子市東町)
・0859-32-5110
- ◎広江病院 (米子市上後藤)
坂元俊文先生
・0859-29-5351
- ◎山陰労災病院 精神科 (0859)
中村宏子先生 33-8181
- ◎鳥大医学部付属病院 精神科
三輪美和子先生
0859 34-8107



子供達はその時



▽校庭に避難しているとき、家がふたつにわかれたんじゃないかと思ってしまうくらい心配だった。すぐに家の人を連れて来て欲しいかったです。でもお父さんが自走車で迎えに来てくれて、お父さんが大丈夫だったと分かってほっとしました。

(男子)

▽家に帰ったとき、家やピアノが揺れてなくてびっくりしました。でも、寝ているとき、何かが倒れてくるんじゃないかと心配でした。お母さんが、「いつ地震が来ても逃げられるように逃げる用意をしておきなさい。」と言ったので、用意をしておきました。

学校に出るからは、余震があまりなかったのでほっとしました。

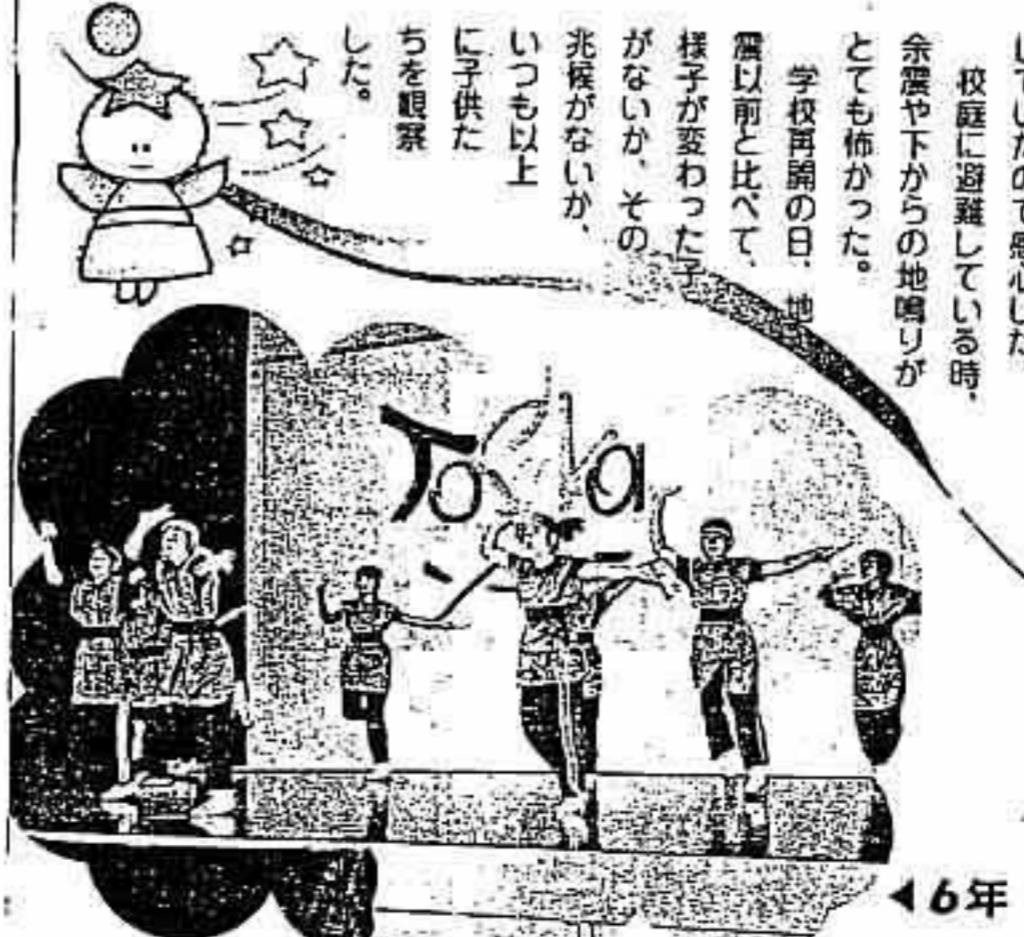
(男子)

先生はその時



▽久住分校から本校に帰ると、子供達が全員無事で、しかも落ち着いているのを見て安心した。通学路は大丈夫が心配で情報収集に努めた。

子供達の様子を見ると、子供が地震直後に受けた衝撃は、思ったよりも少なかったのではないかと感じた。その後、阪神淡路大震災の経験にもついで助言が多く、不安を持ったが、日野町の実態を見ると様々な相違点があるように思う。復旧の長期化の中で、垣間見られる子供たちの深層を、自分たちの目で、慎重に見つめていかねばと思った。



6年 ダンス

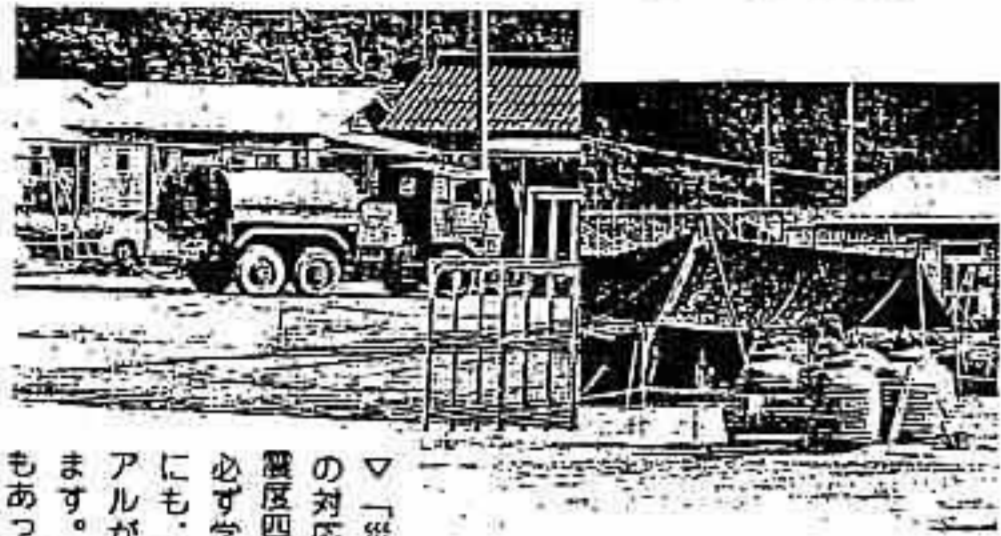
▽校庭でサッカーをしている時に地震が起きた。立っていられたので、子供達にも座るように声をかけた。校舎の窓が波打ち、全体が揺れていた。放心状態だった。地震の状況について情報がほしかった。家族が大丈夫が心配だった。

▽「外に出よう」と森谷先生の声がしたので、一階にいる子に声をかけて、校庭に出た。子供たちは、叫んで悲鳴をあげていたけど、机の下にもくったり、教員の指示を待ったり、自分で考え訓練通りにしていたので安心した。

校庭に避難している時、余震や下からの地震りがとて怖かった。

学校再開の日、地震以前と比べて様子が変わった子がなにか、その兆候がなにか、いつも以上に子供たちを観察した。

保護者はその時



▽「災害時の大人・保護者の対応」という、例えば、震度四・五以上の地震の時は必ず学校に向く。仕事先にも、そんな対応のマニュアルがあったらよいと思います。又、心の対応の指導もあってほしいと思います。

▽私は、夜勤明けで家で寝ていて倒れて来たたすの下敷きになりました。姑に助けしてもらい、あわてて逃げ出したのですが、子供達の事が心配で心配で...

久城先生と谷口先生に出会い、「子供達は無事です。」の聲にあふれる涙をおさえるのが一杯でした。

この度の地震で一番嬉しかったのは、多くの方々の励まし、人間と人間とのつながりの大切さを痛感しました。

▽帰宅後、続く余震に敏感に反応しないかと不安でしたが、先生方の対応のおかげで子供達は元気に毎日を過ごしていることができました。

これが何よりの心の支えになりました。たくさんの方々の温かい支援に感謝し、これからもがんばっていきましょうという気持ちでわいてきました。

▽自分の身は、自分で守らなくてはいけないという事。又、普通に生活出来るという事の有り難さや大切さ。

今までの生活を振り返り、何が大切かという事を考えさせられました。

大地震をのりこえて!!

学芸発表会 11月19日 ▼3年~6年 合奏



地震があつて、音楽会もいきいきひのふれあい祭りも中止。せっかく練習した「天空の城ラピュタ」地震から一ヶ月半やっとみなさんに聞いてもらう事が出来たと喜んでいただけました。地震を乗り越えての感動の演技でした。

みんな上手に演技していました。一生懸命にやっているのが伝わってきました。

ほんとうにひさびさに、何年ぶりかで、現代的になった学芸会を見せていただきました。見せていただき大変に喜びました。たのしい一時、子供さんの演技に泣いたり、笑ったり。心安らくひとときでした。



久しぶりに大勢の人と出会い、一生懸命な子ども達の姿、そして楽しく笑いを誘う場面では、心から笑う事が出来ました。本当に一日楽しく過ごさせていただきました。子ども達の笑顔あふれる元気な姿にありがとうございます。

*アンケートにご協力ありがとうございます。



すが、まもなく以前より丈夫にできあがります。

学校の中で仲間と楽しそうに生活していますが、子どもたちは心の中に不安がいっぱいある状態です。どんな悩みにもいつでも受け止めていく構えを持ち全職員で子どもの心の回復に努めていきます。

- これからでる症状
- ①地震の事が突然出てくる。
- ②身体が過敏になる。
- ③意識が鈍感になる。

- 対応の仕方
- ①「もう大丈夫」など安全感を持たせる。
- ②「肩をだく」などして子どもに寄り添う。
- ③過剰な反応が一ヶ月は続くが受け止めて対応する。

この大地震の中にも、被害が人命に及ぶことのなかったことは不幸中の幸でした。

十月六日の地震以降、日野町の小中学校は十月十五日まで臨時休業を行いました。

その間、学校の職員は被害を受けた校舎の内部、外部の施設・設備の修復の取り組みや家庭訪問による一人ひとりの子どもたちの家の被害の状況や子どもたちの生活の様子を理解・支援、避難所となっている体育館での生活環境作りや生活している子どもへの支援などを行ってきました。

十月十六日(月)から、学校が再開しました。元気のよい子どもたちの声が響いています。また、校舎の職員室前のモルタル外壁を修復中

菅福小小学校校舎再開

校長 山中 芙蓉

木せいの香りが秋の深まりを感じさせ、親子でふるさとの秋の山歩き活動を計画していた矢先でした。鳥取県西部地震と呼ばれる大地震が起きたのは。

私達の住んでいるところは災害も少なく住みよい所という気持ちを持っていただけに、こんな大きな地震が起き、みんなの受けた衝撃は精神的にも、物質的にも大変大きいものでした。特に、日野町は被害が大きく心が痛みます。一日も早く元気を取り戻され、復興に向かわれますよう皆様には心よりお見舞い申し上げます。

きょう ひさしぶりに小学校に行ってうれしかったです。みんなにもあえてうれしかったです。

一年 西村賢人

ちまっと学校に行くのがかわかったです。だけどみんなにあえたら、たのしかったうれしかったです。

二年 青砥美紗

みんなとあそんだり、べんきょうしたりしてたのしいです。

二年 稲田大地

ひさしぶりにきたら、体育館には練のあみかほってあって体育館はあんしんだからよかったです。トランクかきたのでなにもすあのねなっと思ったり、かわれかけたかべをなましています。また、よしんはつづくので、まだらよっしんばいす。

三年 稲田浩明

まだ、よしんがつついて少しこわいです。やすんだ分、べんきょうをやりたいたです。また、大きなよしんかこなといいなあと思っています。

三年 伊田浩貴



ひさしぶりに学校に行ったら校舎に黄紙かほってありました。ちまっと不安でした。カラスやトローラーはわたりついているけど、教室かしんばいすした。でもぶじでよかったです。

四年 稲田和正

ひさしぶりに学校に来てとてもうれしいです。みんなを元気でよかったです。べんきょうの時、つゆれるかわからないのでまだ不安です。でも、みんなといろので、だいじょうぶです。

四年 坂本重里紗

とてもみんなが元気そうでした。よかったです。しずかさんが、けかかもうたいたことなくてよかったです。

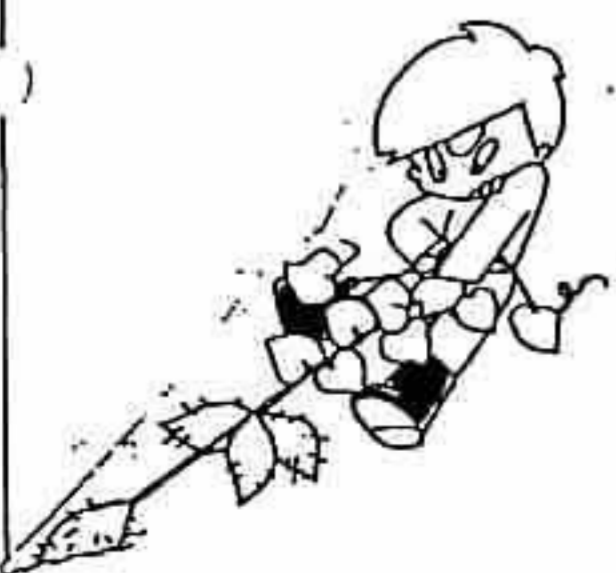
五年 小林綾子

みんなのおおをみて元気が、たんだなあと思えました。とくに、ありきさんか元気でよかったです。

五年 長尾静香

学校の中は、どうなっているのかなと思ったり、ほんとになんか、ていて、びくびくしました。

六年 池産 崇



鳥取西部大地しん

菅福小 四年 坂本 亜里紗

十月六日、私は、そうじがおそくなって急いで
ろう下に出ようとした時、いきなり「ドン」とい
う音がしたので「下でなにか落ちたのかな」と思
いました。

そのしゅん間、大きくゆれだしてテレビが落ち
たり、本箱がたおれたり、電気も消えて立ってい
られないほどの大きな大地しんでゆれもいつもより
とても長く続きました。ちょっとおさまりかけた
時やっと机の下にもぐりこむことができました。

牧田先生が、

「外に出よう。」

と、言われたので急いで校庭にひなんしました。

ひなんしている時もまだゆれていたし、校庭に
出てからも何回も余しんがありました。

校庭には、地われがありました。

あまりのこわさで、気がついたら、ぞうきんも
いっしょに持って出ていました。

ゆれがおさまっても涙は出るし、足がたがた
ふるえていました。だんだん時間がたつてなれて
きたけど、まだ落ち着けませんでした。

校しゃの中には入れないので、ずっと外で待ち
ました。ポーとしている人や遊んでいる人など、
いろいろでした。

美紗さんと、賢人君は家の人がむかえにこられ
たので帰っていきました。

それから、和正さんと大地君も帰って、浩明君
も帰ってしまい、とうとう崇さんと、浩貴君と、
わたしと、あや子さんになりました。

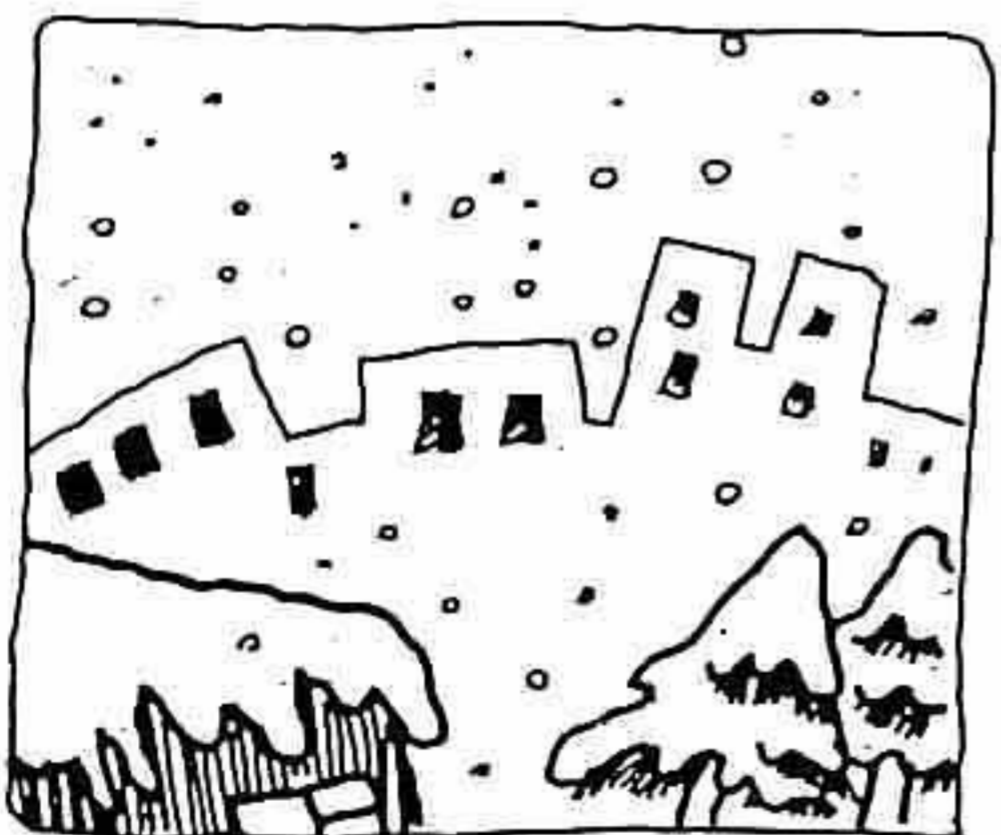
残っていた人達も六時三十分ぐらいで帰って、
わたしとあやさんの二人になり、体育館で遊ん
でいたらあやさんのむかえが来て、とうとう一
人になってつまりませんでした。

家族全員で体育館にひなんして、ねることにな
りましたが、なかなかねむれなくて一時間位しか
ねむれませんでした。

次の日の朝ごはんは、くぼられた弁当でした。
あまり、食べられませんでした。体育館は、つま

りませんでした。何をしても、すぐにやめてしま
います。でも夜は、良いことがありました。それ
は、佐川のおばあちゃんの家のお風呂に入りにい
ったからです。ぼかぼかしてとても気持ちよか
ったです。帰りに車の中でねてしまいました。
三日目の朝は、八時位までねむれました。この
日もひまでした。することと言えば、手伝いぐら
いでした。お風呂は、楽しみでした。それは、温
泉に入れるようになったからです。あたたかくて
とても気持ちが良いのです。
五分位入っていたら、のぼせて頭がいたくなり
ました。

温泉もいいけど、やっぱり家が一番いいです。
早く、地しんがおさまってくれたらいいです。
早く、安心したいです。



(註) このイラストは、鳥取西部大地しんの
菅福小の四年生、坂本 亜里紗さんが
描いたものです。このイラストは、
鳥取西部大地しんの菅福小の四年生、
坂本 亜里紗さんが描いたものです。

2000. 10. 12

日野町立菅福小学校

～その1～

地しん大変だったね

10月6日の大きな地しんから1週間たちました。今回の地しんは日野町が震源地（地しんが起こったところ）だったため、多くの被害が出ています。

学校も、知っているようにパソコンやテレビが落ちてきたり、ガラスは割れたり、かべや地面にヒビが入ったりしました。あの時の恐怖は忘れられませんね。でも、家庭訪問の時の元気そうな様子を見て、先生たちは安心しています。

でも菅福では、亜里紗さんの家が大変で、今も体育館での生活が続いています。根雨や黒坂も被害が大きいため、日野町の小中学校は15日まで臨時休校になっています。

この休みで友だちとなかなか会えなくて、さみしいと思っている人もいることでしょう。今日は友だちの様子やメッセージを紹介します。



家にはまだ痛れないけど、元気にがんばってるから心配しないで。妹たちと砂遊びをしたり、絵をかいたりしています。今はボランティアの人といっしょに遊んだり、勉強したりもしています。でも、早くみんなに会いたいな。メッセージのビデオうれしかったよ。

今の学校の様子



みんなからのビデオを見る亜里紗さん



避難所になっている体育館



廊下



2年教室の金魚

震度6強とは？

- 震度0 人はゆれを感じない。
- 震度1 家にいる人のだれかがゆれを感じる。
- 震度2 家にいる人の多くがゆれを感じる。つり下げたものが少しゆれる。
- 震度3 家の人のほとんどがゆれを感じる。たなの食器が音を立てることも・・・。
- 震度4 家にいるとかなりの恐怖感がある。置物がたおれることも・・・。
- 震度5弱 たなの食器や本が落ちる。家具が移動、窓ガラスがわれることも・・・。
- 震度5強 たなの多くのものが落ちる。タンスや幕の多くが倒れる。
- 震度6弱 立っていることが難しい。地割れや山くずれが生じることも・・・。
- 震度6強 立っていることができず、はってしか動けない。家具や家がこわれることも。
- 震度7 自分の意志では動けない。建物が大きく破壊、移動、飛ぶことも・・・。

ほけん通信

菅福小学校 保健室

このたびの地震は、ほんとうに大変でした。まだ、余震も続き、不安な夜が続いていますが、疲れがでてないでしょうか？ 子どもたちは元気な様子で、安心してますが、目には見えない恐怖心をかかえていたり、学校に行けないストレスがたまっているのではないかと心配しています。また、家庭での生活リズムは確立できているか健康チェックをお願いしたいと思います。

★子どもたちの心のケアについて

災害時など、子どもたちに強いストレスが加わると、種々の心の健康問題がおこることがあります。症状の例とその対応方法をあげますので、参考にしてください。

症状

小学生の場合、退行現象（赤ちゃんがえり）が中心となる。その他、活発になったり、攻撃的となったり、反対に以前よりおとなしくなったり、ひきこもるなど。

対応策

- 子どもの言うことに、十分に耳を傾け、話し合いの時間をつくり、気持ちが前向きになるように支える。
- 甘えたり、反抗的になったりしてもあわてず、長い目で、落ち着きを取り戻していくのを見守る。また、必ず元気な状態に戻ることを話して安心させる。

上記のように例にあげてますが、子どもたちひとりひとり、ストレスの受け止め方や、反応が違うので、そんなに神経質にならずに、子どもたちの様子を見てあげてください。また、おねしょや、すでに消失していた癖がでてきたりするものも、なにか心の問題が関係することかもしれないので、責めたり、しかつたりせず、子どもの話を聞いてあげて、しばらく様子を見てあげてください。なにか、普段と違った様子でお困りのことがあれば、学校にご相談ください。



2000. 10. 13
4.5⁺

PEACE ONE

1 週間後の様子 ~鳥取西部地震~

日南町内でも被害があちこちで出たようです。御見舞申しあげます。児童のおぼんにきいたところ、家の方々にけがはとほおがたということは何もありません。

日野町の様子はどうですか。(といっても黒坂のことしかわかりませんが) あちらこちらでどうしようもないほど大変のようです。家がひびいて建っているのでほとんどの家が傾き、住めなくなっている所もあります。外から見れば傾いているだけなのですが、中に入れば、家具はとみんまひっくり返り、屋根や壁ははがれ、床が落ち、柱が折れ、ガラスは割れ...という感じですね。黒坂小の体育館は避難所になっていましたか、仮設住宅の建設も始まりました。幸いに1日断水しただけでライフラインはちゃんと整えられていたので片付けて家の中に泊まる人も増えました。自衛隊の給水と風呂、ボランティアの人々のたすけ、県外の警察、自治体そして町外からの人々の援助などは、実に多くの人々のお世話になっています。しかし、その物質面の他に心のケアも重要です。昨日は、広島

ボランティアの方と、女性の警察官の方が1軒1軒まわって困っていることの聞き取りをされていました。避難所での生活が長びいていけばそれだけ、ストレスはたまっていきます。子どもたちも急にこのような生活が始まり、大丈夫かおぼと心配なことです。本当に数十秒の地震によってもたらされた影響は、余りにも大きいです。

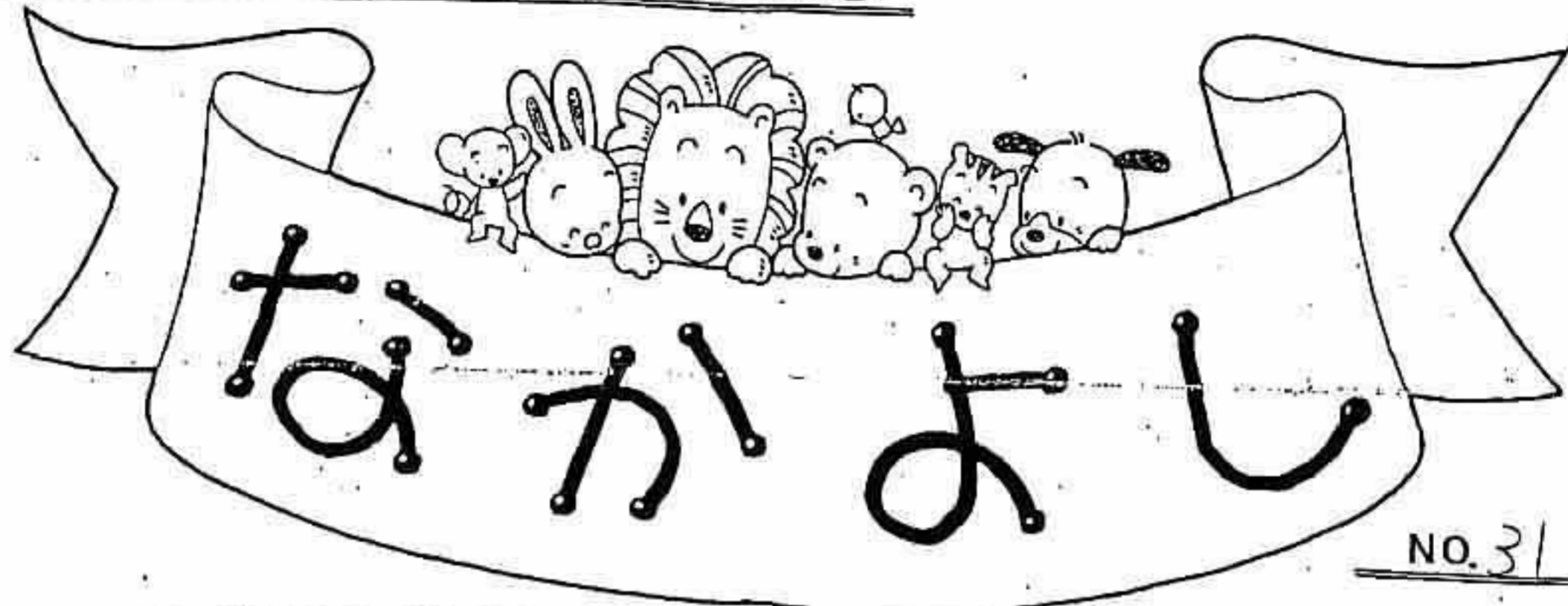
6日の夕方から7日にかけては、県外車がひっきりなしに黒坂の街の中を通りました。それは報道関係の車、そして、言い方は悪いですが「ヤシ馬」です。おぼ、9日頃までは、日中は報道、防災等のヘリコプターがずっと飛んでいました。

やっと二三日そらのピークは過ぎて、県外の自治体の車が、増えました。このあたりではほらほらいので、テレビ朝日の中継車もどまらずと取材を続けています。

私としては写真やビデオに記録を残そうよという気持ちは全くありません。だからというわけでは、ないのですが、隣の町や他の町の様子を見せてあげて下さい。毎日家の前にはごみかたこん出されていまして、かた少くはなりました。今、根雨に出るのにも国道が通れなくておぼも不便なことです。

余震も続きますか。ストーブを使う季節ではおぼたこと、昼食の時間が終わっていたこと、それに横ゆれが中心であったことほおから、こからの被害で可憐な方もおぼりません。

大山小学校 1年学年だより



NO.31

2000.10.11. (水)

せんせい あかね。
きょう、みずがつかえなくなりました。
それで、きゅうすいしゃがきてくれました。
「ごはんができない。」
と、おもいました。それで、いっぱいみずを
くんできました。
すいどうのみずは、しろかったです。でも
すごくしろかったのは、こいのいけでした。
いつものように、どうめいだったらよかったのに。
こいは、だいじょうぶかな。(ゆうき)

たいへんな地震でした。子ども達も「コップやガラスが
割れました。」と話していました。余震が続き、またま
だ不安な思い不自由な思いをされている方がたくさん
いらっしゃると思います。全ての方が安心して暮らせる日が
早くきますように、心から願っています。

10/13(金)に予定していた 田同和教育研究会は中止に
なりましたので、10/13は 普段通り 3時直下校となります。

大山小学校 1年学年だより

12.10.11.

2 学期・心に残ったこと

- 1年 あしおさやか プールでおよげるようになってよかった。かくしゅうは
 っぴょうかいでゆうやけこやけをしてたのしかった。
 あしわゆうき プールでおよげるようになってたのしかった。
 うえだまさこ かんじとかたかなをがんばりました。
 こだけかずひで しゅうごうかくしゅうで、いろんなともだちであって
 たのしかった。
 こだけりな しゅうごうかくしゅうで、おともだちができてよかった。
 なかむらのおひと かん字がむずかかった。
 なごしまなみ プールでせおよぎができてよかった。3ねんや2ねんや
 ともだちができてよかった。
- 2年 河上洋生 みんなといっぱいあそんだことが心にのこった。
 田中美咲 秋のオリエンテーリングが楽しかった。
 原このみ みさきさんとゆみさんとさてつとりにいったことです。
 山本泰之 秋見つけオリエンテーリングでいてんをとったことです。
- 3年 鷲尾晃太郎 すもうで3人ぬきをしてうれしかったことです。
 岩崎史絃 シュートゲームを作ったことです。
 日下雄樹 さてつとりをがんばった。
 佐伯晋介 さ鉄あつめをしていっぱいとれたことです。
 佐伯祐未 さてつ取りをしてたくさんとれてよかった。
 立脇聖也 さてつをとったことが一ばんたのしかった。
- 4年 青木建人 10月6日に鳥取西部じしんがあつてたくさんのひがいがで
 たことです。
- 5年 足羽愛 鳥取西部地震でびっくりした。しんげん地のちかくにともだち
 がいたので心配しました。
 上田奈保子 学習発表会でリコーダーでけっこうきれいな音を出せたこ
 とやげきで大きな声を出せたことがこころに残りました。ほかには地震が
 あつたことが心に残りました。
 上田竜太 じしんがきてちょっとこわかったです。
 河上亜純 学習発表会でふいたきねんじゅです。きれいにふけました。
 小竹沙季 鳥取西部じしんがあつたことです。それでいろんなところに、
 ひがいがあつたことです。

- 佐伯成美 ひょうたんのたねをとって、ふたをつくつたこと。私のたん
 じょう日の前の日に大きな地震があつたことです。大西先生の赤ちゃんが
 生まれました。
 田中真梨奈 学習発表会でげきや総合をして、かめのやくをした。
 田辺舞 鳥取西部地震で地われやがけくずれがあつた。日南町もひが
 いがおおかつた。
 中村光 鳥取西部地震で家の倉のかべにひびがはいつたこと、なやがこ
 われたこと。
- 5年 岩崎優志 地震でこわい思いをしたことと陸上大会のこと。
 小竹健太 地震でまどガラスがこわれたこと、漢字で85点取れたこと。
 立脇由美香 10月6日大きな地震が来たことと学習発表会が上手に
 きたこと。
 山中さゆり 学習発表会が一番、二番目は地震のこと。
- 6年 足羽竜之助 バンナナをしました。
 岩崎礼佳 初めて解放文化祭に参加したこと。少しまちがえたけど、う
 まくできたと思う。
 河上晴菜 解放文化祭に初めて参加し、発表したこと。
 佐伯香澄 陸上大会で頑張れた。学習発表会の劇の役。
 佐伯真奈美 学習発表会で最初のあいさつをして緊張したけど、思い出
 になった。
 佐伯良子 学習発表会でバンナナと殿様というおもしろい劇をした。
 高平成啓 今までにない大地震が一番心に残つた。学校生活では陸上大
 会で7位に入つたこと。
 田辺良太 震度7の鳥取西部地震で歯が折れそうだったけど、この辺は
 ひがいが少なくてよかった。学習発表会で家来の役をしたけどいい演技が
 できてよかった。
 中村智久 学習発表会の大きな行事が成功してよかった。地震のため延
 期していた解放文化祭も成功してよかった。
 松浦悠樹 学習発表会が自分ではうまくできたと思う。陸上大会では、
 いい成績が残せずくやしかつた。でもたのしかった2学期でした。
 渡辺竜二 陸上大会で、走り高跳びとソフトボール投げのどちらも3位
 になつたこと。地震でびっくりしたこと。



倒壊した進路室の資料棚

地震

「万が一の訓練」

校長 高木 敏行

大変遅くなってからではありますが、この度の鳥取県西部地震により被害を受けられましたPTA会員の皆さまに衷心よりお見舞を申し上げます。学校といたしましても、あつてはならない、無いことを願いながら毎年9月に避難訓練を今年も実施して、1ヶ月もたない10月6日金曜日午後1時30分頃、突然襲ったマグニチュード7.3の地震、学校は五時限の授業が始まって10分ほどたったころ。その時の様子を教頭先生は校内放送のマイクに向かって、とっさに「予行練習の通り速やかにグラウンドに避難する

ように」と放送していたと後になって言っておられました。実際のところ3階の教室で授業しておられた先生の話では、歩くことも困難であったとのことでした。学校の被害は、教訓としていろいろな点を体験した割には少なく、何より生徒、先生に何もなかったことを喜んだことでした。いろいろ体験し、反省もし、今後に生かしたいなかの一つに、震災後登校日か休校かの生徒連絡をしなかったことがあります。大変御迷惑をお掛けいたしましたこと深くお詫びし、震災のお見舞と報告にいたします。

境高PTA会報より

12.12.15. 12/13

お見まいのお金ありがとうございました。

10月6日の地しんはとてもびっくりしました。

テレビが落ちたり、かべがくずれたりしました。

すぐ校庭にひなんしたので大きなけがもなく、みんな無事でした。まだ余しんがあるので心配ですが、がんばって勉強しています。

地しんでCDラジカセがこわれたので、送っていただいたお金で買うことにしました。大事に使いたいと思います。本当にありがとうございました。

菅福小学校代表委員会